



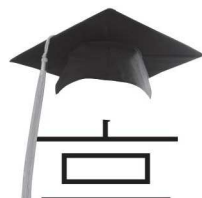
高知大学

教職員：約 1,800 人

学 生：約 5,000 人

学 部：人文・教育・理・医・農

- 県内唯一の総合大学であり、平成 27 年度に地域協働学部を新設
- 地域連携推進センターが全学的な地域連携プロジェクトの企画を担う
- 県内 12 市町村および高知県と連携協定を締結し各種連携事業を実行中
- 高知県産業振興計画の策定および遂行に大学として寄与



高知大学

持続可能なすさきの
実現に向かって



須崎市

人 口：23,488 人（平成 26 年 12 月末時点）

世帯数：11,079 世帯

職員数：276 人（平成 27 年 1 月時点）

- 一次産業が盛んで、特にミョウガ栽培は全国一の販売額
- ドラゴンカヌー大会やオープンウォータースイミング大会、わら焼きかつおたたき体験などの体験型観光資源、県内外から多くの観光客を誘客する須崎名物「鍋焼きラーメン」などの食資源
- 現在、平成 27～31 年度までの須崎市産業振興計画を策定中
- 平成 25 年 4 月から、しんじょう君大活躍中

現在、須崎市では須崎市産業振興計画策定のため、検討委員会の顧問に高知県産業振興計画検討委員会の委員長を務められた高知大学の受田浩之副学長、また委員長に高知大学の岡村健志特任講師に就任をいただき、策定作業を進めています。また、高知大学では地域連携事業に力を入れて取り組んでおり、平成 27 年度から全国初の「地域協働学部」を新設。少子高齢化、産業の脆弱化などの地域課題を解決するための人材育成が始まります。このような須崎市と高知大学の関係もあり、須崎市の産業振興計

画を推進していく人材を育成するためにも、高知大学と人材の育成や地域産業の振興についての連携協定を締結しました。この協定に基づき、須崎市職員 1 人を研修生として派遣することになりました。自治体から高知大学への職員派遣は初。また、高知大学の教職員や学生との須崎市でのフィールドワークなどの交流も期待されます。今後、須崎市は高知大学と連携し、産業振興計画をはじめとする「持続可能なすさき」を実現するため、人材育成やネットワークの構築を図っていきます。